

令和7年7月28日

芦屋市 企画部 市長公室
市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

対話による 市民協働ファシリテーター講座事業報告書 01

- 1 日 時：令和7年7月27日（日）9：00～17：00
全2回講座（次回：10月5日（日）
- 2 担 当：橋野、株本 文責：株本
- 3 参加者：17名 講師：2名
- 4 目 的：会議を円滑に進める技法を学び、実践の場を経験し、活動者を育成する。
- 5 内 容：ファシリテーターの基礎講座を経て、「みんなのつどい場」で実践経験を積む。
1回目：ファシリテーションセミナー＋ワークショップ
2回目：実践＋振り返り
講師：稲葉 久之（修士：教育ファシリテーター）
草郷孝好（関西大学社会学部教員）
- 6 感想（アンケート結果（16件）より抜粋）
 - ・色々な人の意見を理解し、前向きにまとめ、進めるファシリがとても良くやってみたい気持ちになった。同時に難しさを知りました。
 - ・多くの学びや発見があり貴重な経験になりました。
 - ・ファシリテーションの基本「みる」「きく」を改めて考えることができた。
など
- 7 振り返り
 - ・参加対象について高大生が多く受講できるように、一般（芦屋市在住、在勤）、一般（芦屋市以外）は応募数によって抽選としたが、高大生の受講者が少なく抽選には至らなかった。申込方法、締切日については検討の必要がある。
 - ・ファシリテーションの目的は必ずしも合意形成だけでなく、ファシリテーターがその都度、どこに目標を置くかが大切であることを学んだ。例えば参加者同士が仲良くなる、参加者全員が意見を出せることなど

資料1：チラシデータ

対話による 市民協働 ファシリテーター講座



まちづくり、対話、ファシリテーションのイメージを共有しながら対話の場を体験する。



対話の場づくりとファシリテーターの役割について理解を深める。



さまざまな意見を整理する方法について学ぶワークショップを体験！

2回連続講座

第1回 **7月27日** [日] 第2回 **10月5日** [日]

9:00▶17:00 9:00▶17:00

会場 芦屋市立あしや市民活動センター リードあしや
兵庫県芦屋市公光町5-8 公光分庁舎北館 TEL: 0797-26-6452

定員 ●12名程度 (高校生以上)

参加費 ●昼食代として各回 500円 (高校生は無料)

お申込 ●申込フォームからお申込ください。

お申込 Googleforms ▶



ファシリテーターとしての基本的な態度や心構えを理解し、地域コミュニティにおける、対話の場づくりや、多様な意見を持つ人の集まりにおいての役割を学びます。



講師 **稲葉 久之**
フリーランス・ファシリテーター



講師 **草郷 孝好**
関西大学社会学部教員

主催：芦屋市立あしや市民活動センター リードあしや
(指定管理者 特定非営利活動法人あしや NPOセンター)

資料2：セミナーの様子



